

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局(43) 国際公開日
2004 年 3 月 18 日 (18.03.2004)

PCT

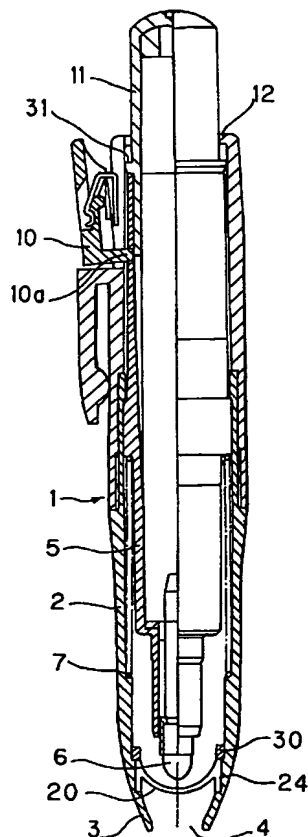
(10) 国際公開番号
WO 2004/022360 A1

- (51) 国際特許分類⁷: B43K 24/02, 5/17, 8/24 千140-8537 東京都品川区東大井五丁目23番37号 Tokyo (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2003/011383
- (22) 国際出願日: 2003 年 9 月 5 日 (05.09.2003)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願2002-261340 2002 年 9 月 6 日 (06.09.2002) JP
特願2002-261426 2002 年 9 月 6 日 (06.09.2002) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 三菱鉛筆株式会社 (MITSUBISHI PENCIL CO., LTD.) [JP/JP];
- (72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人 (米国についてののみ): 澤 幸儀 (SAWA, Yukinori) [JP/JP]; 千375-8501 群馬県 藤岡市 立石1091番地 三菱鉛筆株式会社群馬研究開発センター内 Gunma (JP).
- (74) 代理人: 藤本 英介, 外 (FUJIMOTO, Eisuke et al.); 千100-0014 東京都千代田区永田町二丁目14番2号 山王グランドビルディング3階317区 藤本特許法律事務所内 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU,

[続葉有]

(54) Title: CAPLESS WRITING IMPLEMENT

(54) 発明の名称: キャップレス筆記具



(57) Abstract: A capless writing implement (1) having a writing body (5) disposed in a shaft tube (2) so that the pen tip part (6) of the writing body (5) can be extended and retracted from the tip opening of the shaft tube (2), comprising an inner cap (20) formed of a rubber material or an elastic resin material which is fitted to the tip opening of the shaft tube (2), the inner cap (20) further comprising a closing part (21) having a slit (25) allowing the pen tip part (6) to be extended and retracted therethrough and closing the tip opening which is formed on the extension side of the pen tip part in the axial direction of the shaft tube and a forward projected (27) swelled toward the tip opening which is formed at the outer peripheral part of the closing part (21), characterized in that the inner cap (20) is installed in the shaft tube so that a force is applied, in the closed state of the slit (25), from the outer periphery to the inside of the forward projected part (27) in a direction generally perpendicular to a slit surface.

(57) 要約: 軸筒 (2) 内に筆記体 (5) を配置して、軸筒 (2) の先端開口より筆記体 (5) のペン先部 (6) が出入自在に構成されるキャップレス筆記具 (1) に於いて、軸筒 (2) の先端開口に、ゴム材または弾性樹脂材で形成されるインナーキャップ (20) を備え、インナーキャップ (20) は、軸筒軸心方向に沿ったペン先部出側に、ペン先部 (6) が出入自在のスリット (25) が形成されるとともに先端開口を閉塞する閉塞部 (21) を有し、閉塞部 (21) の外周部に先端開口方向に向かって膨出した前方突出部 (27) が形成され、スリット (25) を閉じた状態で、さらにそのスリット面と略直角となる方向で前方突出部 (27) の外周より内側に向う力が掛かるように軸筒内に装着されることを特徴とするものとする。



ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

- 国際調査報告書
- 補正書・説明書

(84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR),

補正されたクレーム・説明書の公開日: 2004 年 5 月 21 日

2 文字コード及び他の略語については、定期発行される各 *PCT* ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

補正書の請求の範囲

[2004年2月20日(20.02.04)国際事務局受理：出願当初の請求の範囲1は補正された；出願当初の請求の範囲2, 3及び4は取り下げられた；新しい請求の範囲9が加えられた；他の請求の範囲は変更なし。]

1. (補正後) 軸筒内に筆記体を配置して、軸筒の先端開口より筆記体のペン先部が出入自在に構成されるキャップレス筆記具に於いて、前記軸筒の先端開口に、ゴム材または弾性樹脂材で形成されるインナーキャップを備え、該インナーキャップは、軸筒軸心方向に沿ったペン先部出側に、ペン先部が出入自在のスリットが形成されるとともに先端開口を閉塞する閉塞部を有し、該閉塞部の外周部に先端開口方向に向かって膨出した前方突出部が形成され、前方突出部の外周または前方突出部の外周に対接する軸筒装着内面に凸部が設けられて、その凸部の作用により、前記スリットを閉じた状態で、さらにそのスリット面と略直角となる方向で前記前方突出部の外周より内側に向う力が掛かるように軸筒内に装着されることを特徴とするキャップレス筆記具。

2. (削除)

3. (削除)

4. (削除)

5. 軸筒内に筆記体を配置して、軸筒の先端開口より筆記体のペン先部が出入自在に構成されるキャップレス筆記具に於いて、前記軸筒の先端開口に、ゴム材または弾性樹脂材で形成されるインナーキャップを備え、該インナーキャップは、軸筒軸心方向に沿ったペン先部出側に、ペン先部が出入自在のスリットが形成されるとともに先端開口を閉塞する閉塞部を有し、該閉塞部の外周部から後方に筒部が形成され、その筒部の後方に筒部内孔を拡開する状態で該筒部が嵌着されるホルダを備えて、常時閉塞部には常時スリットを閉じる側に向かう応力が掛かるようになされて軸筒内に装着されることを特徴とするキャップレス筆記具。

6. インナーキャップの筒部内孔を径方向に5%～30%の範囲に、好ましくは略20%に拡開してなる請求の範囲第5項に記載のキャップレス筆記具。

7. スリットの方角と略一致する方向でインナーキャップの筒部内孔が拡張されるように、インナーキャップの筒部内孔とホルダの筒部外周との間の所用箇所に

凸部が形成されたことを特徴とする請求の範囲第 5 項に記載のキャップレス筆記具。

8. インナーキャップの閉塞部は、先端開口に向かいアーチ状に突出した形状を有することを特徴とする請求の範囲第 5 項に記載のキャップレス筆記具。

5 9. (追加) 前記スリットは、その縁が前方に向かい凸状に突出形成されることを特徴とする請求項 1 に記載のキャップレス筆記具。

条約第 19 条（1）に基づく説明書

請求の範囲 1 に請求の範囲 2 を組み入れて補正された請求の範囲 1 とする。

これに伴い、請求の範囲 2 は削除する。

請求の範囲 3 および 4 は削除する。

請求の範囲 5, 6, 7 および 8 は変更なし。

請求の範囲 9 を追加する。